

(図中の口上)

松嶋屋まつしまわすれかたみの。

兄あにの我当がとうが替りかはの三吉おんじで。弟おとう槌つ之介

十三才ひでたで。つぎの秀太郎ひでたは七才しゅんれいで。順礼姿すがたの

なりを見て。葉村はむらや璃寛りくわんのいふことにや。

これくこともふたりのたびと見ゆるおまへがたはどじやへ

アイわたしは大坂嶋の内御まへ丁で御ざり升ふんそんなら

松しまやの子どもたちかアイ此あいたとさまはきつびやう

にてしなやりましたゆへぼだいのためいさいこくをいたし升

それではわしものがれぬ中じや御けんぶつのかたへ

御ねがひもつさにやならぬとて。

ことをわけたる璃寛りくわんが口上くちやうや。梅舎ばいしゃ団だん之助。

三人ごともの子供こどもは手てをあはし父ちちにかわらず

御鼻ごひい眞まをねがへは大人おほいり大涙おほなみだだ

作者合ノ亭哥鳴